

事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」茨木駅前校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用定員に対し、支援の組み合わせや子どもの特性に合わせスペースを調整している。	
	② 職員の配置数は適切である	○		法定に定められた基準配置を遵守している。地域の中での利用希望が多く配置を増やす必要がある。	利用希望枠を受けられるように人員増を要望している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		障がい・特性配慮したシンブルな環境作りをしている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃、その都度の片付けを行うことで、心地よく過ごすことができる環境を整えることに努めている。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			PDCA サイクルの意識をしていくことができるように職員の意識を高めていく。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			今回のアンケートを元に、すぐに改善できるものから取り掛かり、業務改善につなげていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて自己評価表を公開している。	

⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は現在行っていない。
⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内の発達支援研究所が職員の資質向上のための初任者研修、定例研修を実施している。	
⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		受付シートに記載後、聞き取りをしたのちアセスメントを行ったあと、体験実施後、支援計画書を作成している。	
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシート、NCプログラム、SDQプログラム、SDQプログラムでアセスメントを実施している。	
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		毎回の支援後の振り返りにおいて家族の困りごと、学校での出来事などの聞き取りや、進路についてのアドバイスなどを行い、必要に応じて支援計画に反映させているが、項目別には設定していない。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々の支援は、支援計画に沿ったもので行っている。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		事業所内で、児童発管、担当指導員、その他の指導員で支援プログラムを立てている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々の支援の状況を確認し、プログ	

適切な支援の提供

					ラムの工夫を行っている。	
					個別療育ではあるが、集団につながるようなSSTなどを行っている。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			ミーティングにおいて必要な連携の確認を行っている。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			必要に応じて、職員間の共有を行っている。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	○			日々の支援の記録を取り、支援の検討・改善につなげている。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			定期的にモニタリングを行い、支援計画について見直している。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			サービスクラス担当者会議には、児発管、担当指導員が出席している。	
㉑	障害児相談支援事業所のサービスクラス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			必要に応じて情報共有、連携を行っている。	
㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			該当者なし	
㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当者なし	
㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当者なし	

関係機関や保護者との連携関係機関

や保護者との連携	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○	連携は実施できていない。今後、家族、相談支援機関と連携を行い実施していきたい。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	○	家族、相談支援機関と連携を図っている。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	○	連携は実施できていない。今後、家族、相談支援機関と連携を行い実施していきたい。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	○	交流する機会がないが、今後、機会があれば関わっていく。

29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	○	参加できていないので、参加していきたい。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	○	日々の振り返りの中で共通理解を持っている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	家族との相談やアドバイスには、取り組んでいるが、家族支援プログラムとしては行っていないため今後対応していきたい。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	○	契約時に丁寧に説明をしている。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	○	契約時、モニタリング後の支援計画に関して説明をして同意を得ている。
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	○	日々の振り返り、モニタリング時にお願い、保護者の相談に応じている。
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	○	今後、定期的に機会を作っていく。

保護者への説明責任等

⑤⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している。	
⑤⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	○		今後、情報を提供していきたい。
⑤⑧	個人情報情報の取扱いに十分注意している	○		カギのかかる書庫で管理している。	
⑤⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的ツールなどを活用している。	
⑥⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○	○		地域の方々が参加する行事などは実施していないが、問い合わせに対応し、訪問していただいている。
⑥⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを準備し、月に一回程度、訓練を行っている。	
⑥⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害に対する定期的な訓練を行っている。	
⑥⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のごどもの状況を確認している	○		アセスメントシートなどにて確認している。	
⑥⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	○	○		支援中に食事をすることがない。
⑥⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例については、自事業所、他事業所とも情報を提供している。	
⑥⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		1年に1回以上の研修を行っている。	

非常時等の対応

47	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している</p>	○	<p>運営規程、身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば発達支援計画に記載している。</p>	
----	---	---	---	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」茨木駅前校 保護者等数（児童数 7 5 回収数 6 9 割合 9 2 %

	チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	4	1	0	活動内容によっては狭さを感じる。		
		2	2	2	0	指導員によって差がある。1年を通して先生が変わらないので安心。		
		2	3	1	1	個別の空間になっているが音に敏感な子にはどうかと感ずる。		
		2	5	0	0			
②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	5	0	0			
		2	3	1	1			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
③	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	5	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	5	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
⑤	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	1	8	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	5	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
		2	5	0	0			
⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	2	3	0		うちの場合は固定した方が安定している。	
		2	2	3	0			
		2	2	3	0			
		2	2	3	0			
⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	3	3	1	2		
		6	3	3	1	2		
		6	3	3	1	2		
		6	3	3	1	2		

環境・体制整備

適切な支援の提供

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	5	0	0	0	0	0	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	4	0	1	0	0	0	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1	4	4	3	4			
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2	5	0	0	0	0	0	支援後の振り返りで毎回丁寧に説明がある。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	5	0	0	0	0	0	困った時にアドバイスがある。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	8	1	0	1	0	ママカフェなどの開催を していきたい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	2	1	0	2			
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	4	1	0	0			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8	4	0	0	1	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2	4	0	0	1			
非常時等の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	6	2	0	7			
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1	3	2	0	1	0		
満足度	㉗	子どもは通所を楽しみにしているか	2	5	0	0	0	0	0	とても楽しく通えている。
	㉘	事業所の支援に満足しているか	2	5	0	0	0	0	0	話ができ、アドバイスがある。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。